

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式	行事名	開催日
C070	ICT東京フォーラム実行委員会	3.ICTセミナー等	ICT東京フォーラム2024 ～地域社会の可能性を広げるAI～	7月21日
開催場所		行事 参加者数	Webサイト・URL	
オンライン開催 (Zoom Webonar 利用)		62名	https://www.youtube.com/watch?v=cdjE9jVUIzo	

行事実施概要・アピール等

ICT東京フォーラムは、ICTを効果的に活用することにより地域の情報化、デジタル化を促進することを目的に、毎年の情報通信月間にフォーラムを開催している。今年度は、急速に発展し産業革命に匹敵する社会変革をもたらすと言われているAIをビジネスだけでなく身近な市民活動や自治会活動などへ役立てる上で必要な知識と実例を学ぶフォーラムを開催した。フォーラムは7月21日(日)14:00～17:40にオンライン(Zoom Webinar使用)にて開催された。

第1部では、電気通信大学人工知能先端研究センター長の南泰浩教授により「AIはどうやって答えを出すのか」と題してAIの仕組みと可能性についての講演が行われ、続いて総務省情報流通行政局情報流通振興課の加藤敬輝氏により「生成AI使用上の注意点」と題して生成AIの利便性と注意すべき事柄についての講演が行われた。

第2部では、地域活動へのAIの活用事例として、自治会運営への活用、ゴミ分別への活用、市民活動のPRビデオ制作への活用の3つのテーマについてそれぞれ先進的に活用している久保田紀之氏、原宏太氏、松澤聡比古氏の3名により紹介された。

参加者は62名であったが、AIが人間に匹敵する回答を作る仕組みを理解し、合わせてその利用についての注意すべき点について具体的な例に基づいて理解することの出来る2つの講演に多くの質疑応答が行われた。また、3つのAI活用事例の紹介も身近な活動への活用事例であり、参加者に好評であった。

アンケートでは、本フォーラムの内容が参加者に高い満足感を与えるものであったことが示された。

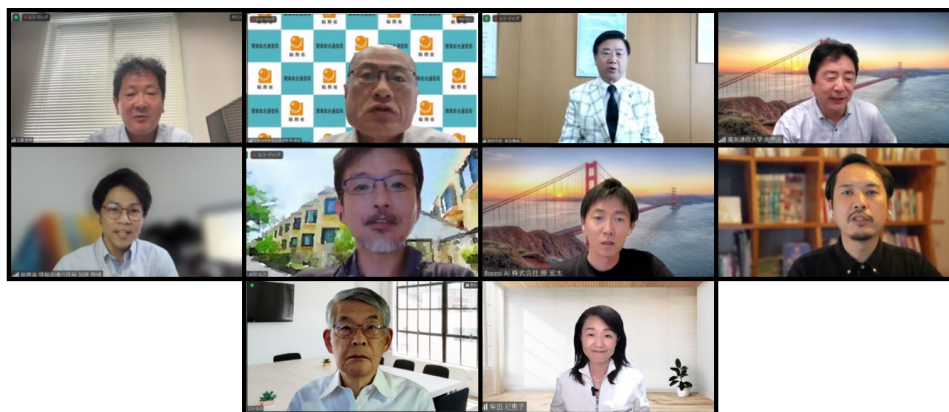


ICT東京フォーラム2024

地域社会の可能性 を広げるAI

[illegible]

ポスター



登壇者（左より）

土屋 実行委員長、佐藤 総務省
関東総合通信局情報通信部長、
長友 調布市長、南 教授

総務省情報流通行政局 加藤氏、
久保田氏、原氏、松澤氏

三木 実行委員会委員、
司会者 柴田氏